

住宅の外皮平均熱貫流率及び外皮平均日射熱取得量（冷房期・暖房期）計算書
（木造戸建て住宅）

1) 基本情報の入力

住宅の名称	●●様邸 新築工事		
住宅の所在地	小樽市若松	(地域区分)	2 (Ib)
住宅の規模	地上	2 階	、地下 階

2) 計算結果

外皮平均熱貫流率	0.33 W/(m ² K)	単位温度差あたりの外皮熱損失量(q)	101.8 W/K
冷房期の外皮平均日射熱取得率	1.4	単位日射強度あたりの冷房期の日射熱取得量(m _C)	4.3
外皮等面積の合計	315.93 m ²	単位日射強度あたりの暖房期の日射熱取得量(m _H)	3.34

3) 省エネルギー基準外皮性能適合可否結果

	計算結果	基準値	判定		
外皮平均熱貫流率 {W/(m ² K)}	0.33 W/(m ² K)	0.46 W/(m ² K)	適合	●	等級4
冷房期の外皮平均日射熱取得率	1.4	-		○	等級3
				○	等級2

注1:本計算シートに入力している面積は、別途平面図や立面図等で計算過程を明示しています。

注2:本計算シートに入力している部位の熱貫流率は、別途計算書等を添付しています。

注3:本計算シートの計算方法は、(独)建築研究所が示す外皮性能の計算方法を遵守しています。

注4:内訳計算シートAは、住宅の外壁の面する方位別のシートに入力してください。

注5:各シートの 黄色 部分に入力するか、あるいはドロップボックスから選択してください。

注6:各シートに入力する寸法は、メートル単位で入力して下さい。

注7:本計算シートでは計算式の誤削除を防止するため、シートを保護していますがパスワードの設定はしていません。

よって各社の仕様に応じ内容を修正することは制限しませんが、計算過程を追えるよう修正することをお願いします。

※1 窓の付属部材に応じた日射熱取得係数を使う場合は、付属部材に応じた値を直接入力して下さい。

建物の容積

1階床面積	56.31 m ²
2階床面積	62.94 m ²
延べ床面積	119.25 m ²
屋根+2F床面積	69.56 m ²
外壁面積	190.06 m ²

部位	断熱仕様	平均熱貫流率(W/m ²)	熱損失(W/K)
屋根	吹き込みRW t350	0.13	9.04
北東側外壁面	HGW16kg 105mm+ 硬質ウレタンボードt25	0.281	8.63
北東側窓			3.3
南東側外壁面	HGW16kg 105mm+ 硬質ウレタンボードt25	0.281	16.71
南東側窓			6.39
南西側外壁面	HGW16kg 105mm+ 硬質ウレタンボードt25	0.281	7.7
南西側窓			9.55
北西側外壁面	HGW16kg 105mm+ 硬質ウレタンボードt25	0.281	16.1
北西側窓			10.11
基礎	押出法PSF3種 t100	-	14.3
各部の熱損失係数の合計			101.83

